

ないたいすがたが、ここにあるかも いたばしこう ギ/ウ×ジョシ

ほんとのところ
おしえておしえて



インタビュー
いたちゃん

「技能」「訓練」と聞くと、なんとなく男性向けのイメージを持つ方もおられるかもしれません。

板橋校では**就職という夢**に向かって、日々いきいきと訓練に励んでいる女性が、複数在籍していますよ。

インタビューーいたちゃんが突撃取材し、リアルな声をお届けします！！



機械加工科2年 Sさん

写真について

今年、技能検定2級を受検しました。右の写真は2級の課題です。ここでは技能も身につけられるし、検定にも挑戦できる環境が整っていますよ。合格していますように！

Q. 入校したきっかけは？

私がまだ前職で勤めていた頃に、幼馴染みが板橋校の機械加工科で学んでいました。彼は、私がもともとモノづくりに興味があることを知っていたので、来てみたらどうかと声をかけてくれました。前職の仕事をする中で、手に職をつけて働くということへの憧れもあったので、機械加工科はとても魅力的に感じました。すぐに仕事を辞めて受験、とはいきませんでした。数年かけて退職したタイミングで受験、入校しました。（ちなみに幼馴染みは、先に就職を果たしました。）

Q. 板橋校での生活、率直にどうですか？

楽しく過ごせています！なにより良いと思うのは、実習が多いことです。学科の授業を聞いて教科書の中だけで学ぶよりも、実際に手を動かしてみるほうがずっとよくわかります。授業で学んだことを自分で再現してみられるのが、魅力です。また板橋校は都心から埼京線で一本、駅から歩いてすぐ。毎日の通学が便利です。隣に浮間公園があり、私もたまに公園を散歩します。昼休みにリフレッシュして、午後の授業に集中して取り組みます。

Q. 入校前後で板橋校のイメージのギャップはありましたか？

入校前は、もったきびきびとした詰め込み式の授業を想像していました。しかし入ってみると、個々のペースに合わせて柔軟に学ぶことに、良い意味でのギャップを感じました。先生に「〇〇の作業が苦手で・・・」と相談すると、「じゃあこれをやってみよう！」と提案してもらえます。授業に置いて行かれてしまうのではないか、という不安も当初はありましたが、実際には先生方がひとりひとりをよく見てくださって、安心して勉強できています。

Q. 科目のどのようなところが、おもしろいですか？

機械加工は、部品の取り付けのような小さなことから、材料を加工するような難しいことまで、自分に「できること」がどんどん増えていく科目だから、おもしろいです。また図面どおりにモノができていくのがすごくおもしろくて、達成感を感じます。

Q. 板橋校のおすすめorお気に入りポイントは？

ノルマやペナルティに追われる張り詰めた雰囲気ではなく、「失敗してもいいから、とりあえずやってみようよ！」という敷居の低い感じが良いです。のびのびとストレスフリーに挑戦するのに適した環境です。



いたちゃん

生徒の訓練生活を応援する板橋校のマスコットキャラクター。時間があれば校内を巡り、訓練の様子を見守っている。お隣の浮間公園をよく散歩しているらしい。

Q. クラスや先生の雰囲気はどうですか？

先生方もとても親身になってくださって、和気あいあいとやっています。クラスメイトたちとは、友達とは違うけれど、同じ方向を向いて協力できるような、程よい距離感です。例えば実習で「私、こんなこと失敗した」と話すと、「あ、それ自分もできなかった！」「じゃあみんなで先生に質問してみよう！」という流れになることも。できないことをそのままにしたくない負けず嫌いな人が多くて、一緒に高め合っていると思います。

Q. 就職のビジョン、意気込みをきかせてもらえますか？

今ではできることが増えてきて、前は「雲の上の存在だからな・・・」と思っていたような会社にも挑戦してみたいと思うようになりました。今どきの言葉でいうと「ワンチャンいけそうかも？」っていうのでしょうかね（笑）このように思えるようになったのも、機械加工科で「失敗してもいいから、やってみよう！」という経験をたくさん積み重ねてきたからこそだと思います。

Q. 入校を検討中の女性のみなさんに一言おねがいします！

実習では、料理でいうところの油はねくらいの怪我や油污れは正直ありますね。でも女性だからといって、特別な心配はいりません。できるだけ生徒に寄りそってもらえる環境だと感じるので、安心してください。入校をお待ちしています！

Sさん、これからも板橋校で夢の実現に向けて頑張りましょう！